



福生市総合計画 [第5期]

概要版

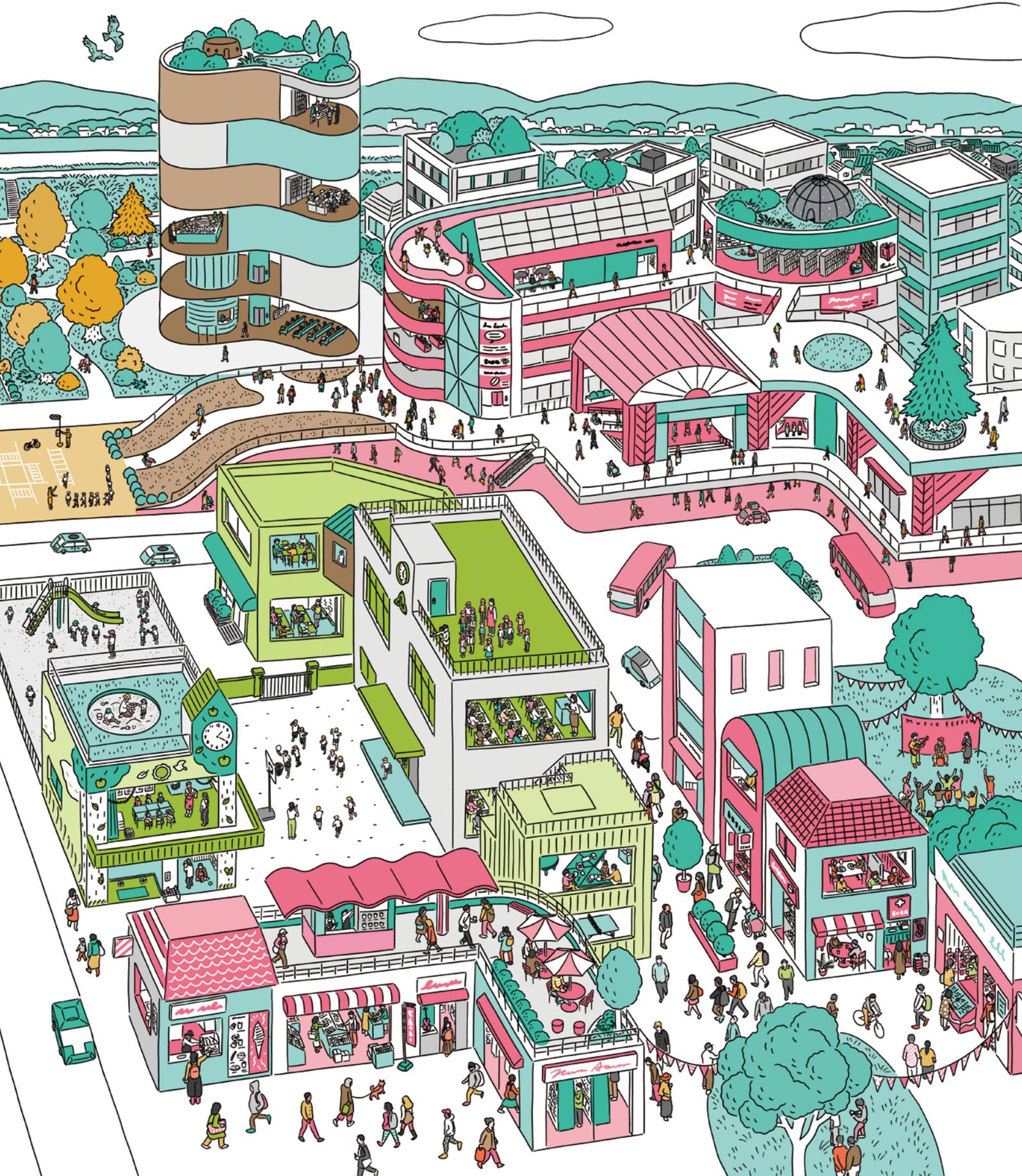
「可能性」と「未来」

安心して子育てできるまち。
歳をとっても、
生き生きと暮らせるまち。
ひとと違うことが、
自分の個性だと素直に思えるまち。

異なる文化の融合を重ねながら
発展してきた福生市には、
一人ひとりが相互に尊重し、
認め合い、支え合える
環境があります。

福生の人々の夢や目標が、
まちに多くの可能性と未来を
作りだしていきます。





人を育み 夢を育む 未来につながるまち ふっさを 実現するために

福生市は今後10年間で「多様な個性や目標を持つ市民一人ひとりが尊重し合い、認め合い、支え合うまち」をさらに磨き上げ、それを地域の可能性と未来につなげていきたいと考えています。

「総合計画」は、このような未来への道筋を示すガイドブックです。福生市のまちづくりの基本的な理念を示す「基本構想」と、これに基づく行政の行動計画を示す「基本計画」で構成されています。

本概要版では「基本構想」のうち、目指すまちの姿を実現するための5つの行動指針「生み出す」「守る」「育てる」「豊かにする」「つなぐ」に沿った取組を中心に紹介します。



1 | 生み出す



「生み出す」は、これまで地域にあったもの・考え方・関係性・活力を基に、新たな展開を創り出すことを指します。取組によって生み出されたものの存在が、新しい福生市の価値へとつながっていきます。

新しい技術に加え、多様な世代の異なる視点や手法を取り入れることで、日々の生活の中で発生する問題を解決したり、停滞した状況を打ち破ることが可能となり、地域が絶えず発展・前進していきます。

まちづくりの行動指針「生み出す」に沿って、次のような取組を推進します。

施策 1 地域産業の活力を生み出す

地域の事業所や創業を志す人の創意工夫や努力を支援し、地域に関わる産業の成長を通じてまちのにぎわいや人々の交流を創出します。

施策 2 人の流れ・にぎわいを生み出す

福生市に新しい人の流れ・にぎわいを生み出せるよう、観光資源や観光案内所の整備に加え、各種メディアを用いたイベント等の情報発信、市内来訪者の受入体制の構築を行うことで観光振興に向けた市内の事業所や観光協会等の取組を支援するとともに、公共交通の充実に努めます。

施策 3 魅力的な都市環境を生み出す

誰もが安全・安心に過ごすことができるよう、人にやさしく、利便性が高い都市環境の整備を計画的に進めます。また、都市整備を通じて市の魅力を磨き、市民が住み続けたいと思える都市環境づくりを進めます。

2 | 守る



「守る」は、福生市に受け継がれている想いの^{たすき}襷を大事にすることや、福生市に関わるものを犯罪・災害・事故などの脅威から遠ざけることを指し、安心して生活できるまちの環境整備につながります。

情報通信技術の発達や少子高齢化といった環境変化の中で発生しうる様々な危機から福生市に関わるものを守るほか、歴史・文化・自然環境といった福生市に根付く魅力を磨き、快適な住環境を整備します。

まちづくりの行動指針「守る」に沿って、次のような取組を推進します。

施策 4 快適な生活環境を守る

快適で安全な生活環境を確保するため、国の法令や規制を遵守しながら、環境に配慮した機器設備等の活用及び再生可能エネルギーを推進するとともに、市民・企業・団体との協働による生活環境保全に取り組みます。また、市民に快適な生活環境を提供するために、下水道施設等の整備・マネジメントを計画的に進めます。

施策 5 安全・安心な生活を守る

市民の安全を脅かす自然災害に対する情報発信や備え、多様化・複雑化する犯罪被害の未然防止や早期発見・解決、交通安全意識向上のため、関係機関等と連携した市民への情報提供や意識の啓発・向上に取り組みます。

施策 6 基地があるまちでの生活を守る

横田基地はないことが望ましいものの、安全保障は国家間の協力関係の問題であり、当面、基地は動かし難いとの前提に立ち、現実的な対応として、航空機騒音等の基地に起因する市民生活への影響を軽減、緩和、解消していくため、国や米軍等の関係機関への申入れを粘り強く続けます。

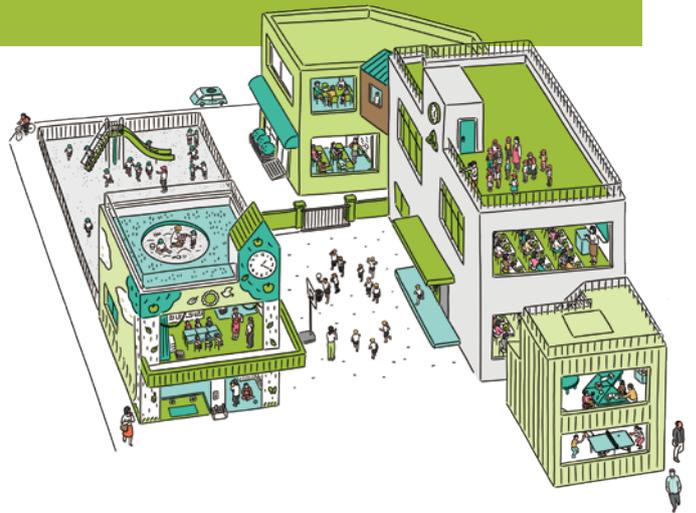
施策 7 歴史・文化と自然を守る

長期的かつ継続的な歴史遺産や自然環境の保全と活用、文化・芸術の継承のため、これまでの研究や調査資料、講座資料の電子化等におけるソフト対策及び自然環境保全や文化財の保全等におけるハード対策の双方で、市民が気軽に地域の歴史や自然環境、文化・芸術に親しむことができる場の整備に取り組みます。

3 | 育てる

「育てる」は、福生市に関わるものが成長・発展できるように力を注ぐこと、能力を発揮できることを指し、福生市でできることの範囲と将来の選択肢を広げることにつながります。

各々が目標を達成するには、周囲の状況や手助けの有無だけではなく、自身ができることを増やすことも重要です。福生市に関わるものが将来の選択肢を増やし、自身の発展や幸せのために生活できる環境を整備します。



まちづくりの行動指針「育てる」に沿って、次のような取組を推進します。

施策 8 安心して子どもを産み育てる環境をつくる

「子育てするならふっさ」のスローガンのもと、保育や子育て支援に関する様々なニーズに対応するため、各種手当等の経済的な支援をはじめ、子どもが生まれる前から個々の家庭が抱える不安や悩みを的確に把握し相談体制の充実を図るなど、必要な支援を切れ目なく提供していきます。

施策 9 子どもの生きる力を育てる

新学習指導要領等で求められている質の高い学びを実現するためには、幼児期の教育の充実に向けた支援をはじめ、ICT環境の整備、学校図書館の計画的な利活用、特別な配慮を必要とする児童・生徒に対する支援、一人ひとりに応じた教育の充実等、時代の変化に合わせた先進的な教育カリキュラムを実施していきます。

施策 10 地域ぐるみで人を育てる

学校の教育的ニーズと地域の力をつなぎ合わせ、家庭・地域・学校が一体となって子どもを育む環境づくりを行います。また、多様な主体による学校教育への参画・協力を促すことで、地域で子どもの成長を支える仕組みづくりを行います。

4 | 豊かにする



「豊かにする」は、福生市に関わるひとの考え方や生活、それを取り巻く環境を多様化し、充実させることを指します。「ひと」、「まち」、「暮らし」の水準を引き上げ、日々の暮らしをより良いものとするにつながります。

生活の豊かさの実現や向上に関するニーズが多様化する中で、福生市に関わるひと一人ひとりの生活を充実させることで、福生市は魅力と活力あるまちであり続けます。

まちづくりの行動指針「豊かにする」に沿って、次のような取組を推進します。

施策 11 高齢期の生活を豊かにする

高齢者が地域コミュニティの中で充実した日々を送れるよう、自身が持つ経験や能力を生かした活躍の場づくりを支援します。また、高齢になっても自分らしく生きることができるよう、高齢者サービスの充実・支援を展開します。

施策 12 障害者（児）の生活を豊かにする

障害者（児）が希望する生活や就労ができるよう、法律や制度、民間事業者等の状況を鑑みながら、計画的な事業展開による安定した障害福祉サービスや活動の場の提供に努めます。

施策 13 自立促進に向けて安定した生活を支える

市民一人ひとりが健康で文化的な生活が営めるよう、国の制度に基づく生活保障制度等の周知や相談体制の充実を図ります。また、住み慣れた地域の中で安心して心健やかに暮らせるよう、地域団体や関係団体等と相互に連携し、地域福祉の推進に努めます。

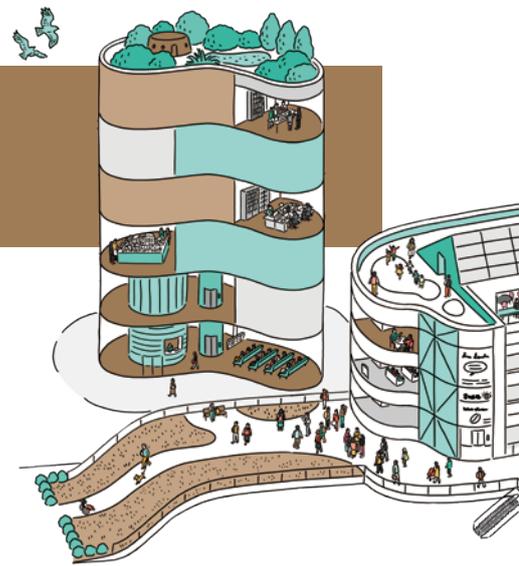
施策 14 健やかで豊かな暮らしを支える

多様な学びや刺激を得て、心も身体も健やかで豊かな暮らしができるよう、気軽に生涯学習やスポーツに取り組める環境の充実を図るとともに、これらに取り組むための講座や教室の情報発信に努めるなど、生涯学習やスポーツの振興に向けた取組を積極的に推進します。また、財政負担を軽減するため、疾病の予防による医療費抑制を重視し、各種健康診査やがん検診の充実を図るとともに、より効果的な健康教育や健康相談を実施します。

5 | つなぐ

「つなぐ」は、福生市に関わるもの同士を切れないように保つこと、将来へと続く流れが途切れないように保つこと、離れているもの同士を引き合わせることを指し、その輪を広げていくことにつながります。

まちづくりに向けた先人たちの取組を現代、そして次の世代へとつなぎ、その関りの輪を広げていくことで、福生市のまちづくりをより良いものにしていきます。



まちづくりの行動指針「つなぐ」に沿って、次のような取組を推進します。

施策 15 人と地域をつなぐ

市民ニーズに沿った行政サービスを提供するために、市の情報を確実に発信して市民との情報共有に努めるとともに、近隣自治体との広域連携等、市民生活の充実と市民の利便性を確保した取組を検討していきます。

施策 16 市民に信頼される行政運営を進める

市民から信頼される行政サービスを提供するために、最新技術を積極的に活用するなど、社会状況に応じた取組を効果的・効率的に行い、計画的な行政運営を推進していきます。

施策 17 持続可能な財政を未来につなぐ

新たな行政需要に対応しつつ市民サービスの安定と向上に努め、計画された事業を円滑に実施できるよう、財源の確保を図るとともに歳出の抑制を図り、持続可能な財政運営に努めます。

施策 18 持続可能な行政組織を未来につなぐ

市民に必要な行政サービスを安定的かつ継続的に提供するために、更なる職員の育成や行政改革に取り組み、適切な事務の執行に努めるとともに、社会状況の変化に伴う様々な課題に迅速かつ効果的・効率的に対応できる行政組織を築きます。

施策 19 地域づくり活動をつなぐ

多様な地域づくりの主体が連携して地域で抱える課題を解決できるよう、市民、事業者、各種団体への支援を充実し、自立的・安定的に活動に取り組むことができる環境づくりに努めます。

施策 20 多様性を認め合う

全ての人が相互に背景を知り、理解を深めながら、共に地域で安心して生活できる環境づくりを図っていきます。

定住化対策の更なる推進（人口ビジョン及び総合戦略）

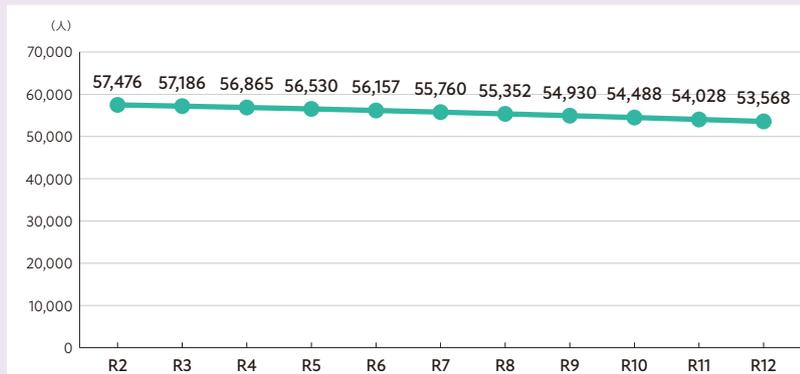
背景 早くから人口減少対策に取り組んできた福生市

福生市は、平成14年をピークに人口減少が始まりました。このことを踏まえて、福生市ではこれまでも、定住化対策の調査・研究や交流人口増加策の取組に加え、平成26年3月には定住化に資する諸施策、事業を体系化した「定住化対策（新5G）」、平成28年3月には本戦略の前身となる「福生市人口ビジョン及び総合戦略」を策定し、中長期的な視点を持って継続的に取り組んできました。

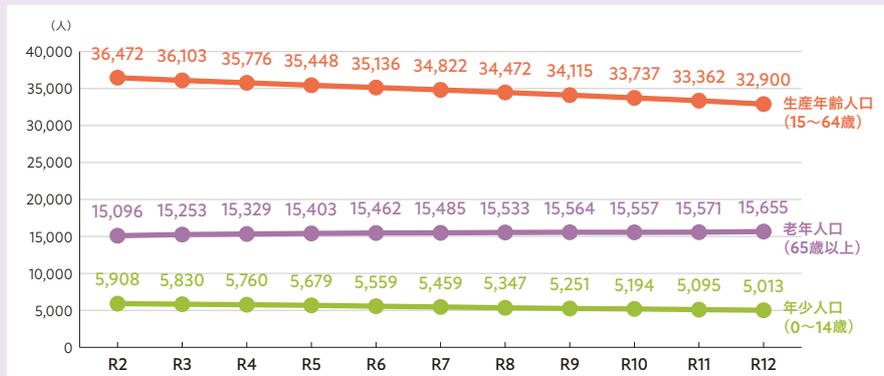
目標 令和6年度末の人口目標「55,800人以上」に向けて

人口減少時代におけるまちづくりはどうあるべきか。これについて、福生市総合計画（第5期）において福生市の基本的な視座をまとめたものが「総合戦略」です。将来人口推計など人口に関する情報を整理した「人口ビジョン」から見える課題と、「新5G」や前総合戦略の取組を踏まえて策定しました。人口目標は、基本計画の前期計画期間（令和2～6年度）の最終年度である令和6年度末の福生市の将来人口推計を上回る55,800人以上としています。

将来人口推計



将来人口推計 (年齢3区分別人口推計)



重点施策 定住化対策を進めるための3つの視点と5つの戦略分野

人口減少を抑制し、目標を達成するための重点的な取組として、「3つの視点」と「5つの戦略分野」を設定しました。福生市の現状と課題を踏まえ、定住化対策をより効果的に進めるための戦略を示しています。



計画の詳細や具体的な取組については「福生市総合計画（第5期）」本編を御参照ください。



福生市総合計画(第5期)について
詳しく知りたい方は
是非こちらを御覧ください